

ラコルタからのお知らせ

※費用が明示されていないイベントは無料です。
※申込期限が書かれていない場合は当日までです。
※お申込み・お問い合わせは電話かFAXでラコルタまで。

かえっこバザール

～遊ばなくなっただもちの交換とワークショップ～

- 日時: 3月15日(土) 13:00～16:00
- 対象: 子どもと保護者、予約不要 直接ラコルタへ

NPOの悩みを解決～NPO法人専門相談～

- 日時: 3月20日(木) 16:00～19:00
- 対象: NPOの立ち上げ、運営をしている方
- 定員: 2組

地域を知る、地元は楽しい!

～地元を知って、地域で遊ぼう!～

- 日時: 3月22日(土) 10:30～12:00
- 対象: これから地域活動を始めようと思っている方
- 定員: 先着20名

吹田市へようこそ～吹田での未就学児の育てと新生活～

- 日時: 4月11日(金) ママGoGo(JR吹田駅錦通商店街)
4月23日(水) ラコルタ
4月24日(木) のびのび子育てプラザ(阪急山田駅前)
いずれも 10:15～11:45
- 対象: 吹田市へ転入してきた未就学児を子育て中の方
- 定員: 各先着15名 ●申込: 各開催日の3日前までにラコルタへ

自分にあったボランティア活動を見つけませんか?
～市民公益活動入門講座～

- 日時: 3月27日(木)、4月24日(木)、5月22日(木)
いずれも 13:30～15:00
- 対象: 始めてみたい方や理解を深めたい方
- 定員: 各先着10名

facebook ページで市民公益活動を
紹介してみよう!

- 日時: 3月29日(土) 14:00～16:00
- 対象: 活動団体の運営や広報をされる方で、Facebookアカウント取得済みで自分で投稿が出来る方 ●定員: 先着10名

～ボランティアしませんか?～

ぶちボラ

働きざかりの方や家事・勉強に忙しい方などに、週末や余暇の新しい過ごし方として、「短時間でできる(ぶち)ボランティア活動」のプログラムを提供します。詳細はホームページで。
<http://suita-koueki.org/puchiboraprogram/>

ラコルタ
サポーター

ラコルタが行うイベントや活動を応援し、ボランティアとしてお手伝いしていただきます。

その他の施設のご案内

※費用が明示されていないイベントは無料です。
※申込期限が書かれていない場合は当日までです。
※お申込み・お問い合わせは各施設まで。

浜屋敷 ～吹田歴史文化まちづくりセンター～

電話: 06-4860-9731

能楽囃子の世界

能に描かれる女性達・六条御息所[ろくじょうのみやすどころ]編

演目は舞囃子「野宮(ののみや)」、半能「葵上(あおいのうえ)」など

- 日時: 4月26日(土) 14:00～16:00
- 定員: 先着80名 ■参加費 1,500円(会員割引あり)
- 申込: 電話か直接浜屋敷へ

社会福祉協議会～ボランティアセンター～

保険に関するお問い合わせ、講座のお申込みは 電話: 06-6339-1254

ボランティア活動保険の更新について

安心してボランティア活動をするためのボランティア活動保険の受付をしています。H26年度の保険は3月3日(月)から掛けることができます。

ボランティア入門講座

京都光華女子大学 石井祐理子氏による講義。ボランティア活動を始める心構えや各活動の紹介など。

- 日時: 3月17日(月) 13:30～15:30
- 場所: 総合福祉会館 ■定員: 先着20名

学校福祉体験ボランティア養成講座

市内の小中学校へ車いすの使い方など福祉に関する授業のお手伝いをするボランティア養成講座です。

- 日時: 3月18日(火) 13:30～15:30
- 場所: 総合福祉会館 ■定員: 先着20名

歌体操ボランティア養成講座

歌体操ボランティア活動を始めるための5回連続講座。

- 日時: 4月22日、5月13日・27日、6月10日・24日のいずれも(火) 9:30～12:00
- 場所: 総合福祉会館 ■定員: 先着20名

Newsletter VOL.6

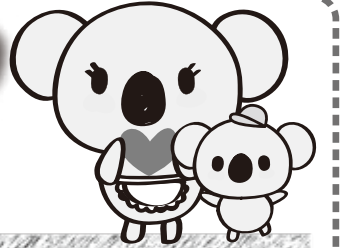


出会う→集う→育てる→実る



吹田市立市民公益活動センター

- ラコルタの方針●
- ①市民公益活動を行うNPOやボランティアの活動を支援する
 - ②社会に役立つことを始めようとする市民や事業者を増やす
 - ③市民公益活動団体と教育・研究機関や行政との間で交流を深め、情報を共有する
 - ④市民公益活動を支援できる人材の育成を図り、協働によるまちづくりを推進する

～ママの気持ちは子どもに伝わる～
ママとキッズのバレンタイン
チャリティー
を開催しました!

東日本大震災の記憶を風化させないため、去る2月11日(火・祝)に「ママとキッズの実行委員会」と共にラコルタでチャリティーイベントを開催しました。日頃、復興支援活動に参加する機会の少ない子育てママが中心となって、手づくり品の販売ブースや体験コーナーが多数出店されました。ステージでは、英語で楽しむゲームやバルーンショーなどの楽しいアトラクションのほか、子育てママの防災講座もあり、災害の備えについての勉強の場となりました。約500名が参加し、集まった寄付総額約8万円は宮城県の復興支援団体「NPO法人ガーネットみやぎ」に送りました。「スタッフや出店者、来場者の新たな繋がりができ、多世代間の交流ができてよかった。」と実行委員会の生駒涼子さんと小畑祥子さんからコメントをいただきました。



かえっこバザール「イベント」で大いに盛り上がり!

3月15日(土)
午後1～4時
ラコルタにて



昨年に引き続き、今年も3月に「南千里かえっこバザール」を開催する事になりました。今年のテーマは「学校」。本番に向けて、地域の方々にこの取り組みを知っていただくためのイベントを1月25日に行い、150名以上の大人や子どもたちが参加してくれました。当日はおもちゃの受付と、「南千里かえっこバザール実行委員会」メンバーによる、ユニークな実験や工作などのワークショップが行われ、子どもから大人まで楽しめました。参加した子どもたちがスタッフになる場面もあり、本番は子どもを中心にますます楽しい「かえっこ学校」が開催できそうです。



「かえっこバザール」とは…子どもが遊ばなくなっただもちを持ってきて、欲しいおもちゃと交換する際に、市内で活動するさまざまな団体によるワークショップを経験する多世代交流イベントです。

南千里かえっこバザール実行委員会ブログ⇒<http://suitakaekko.seesaa.net/>

編集後記 ラコルタを開業して1年半。まず、ラコルタを知っていただくことから始め、試行錯誤も含めて様々な事業・活動に取り組んできました。2014年度は、地域活動デビュー講座や地域コミュニティ運営講座など、地域課題を市民主体で解決するのに役立つ事業を強化したいと考えています。(鍵谷)

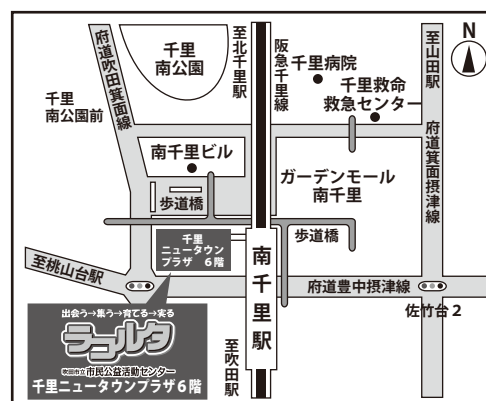
＜発行責任者＞柳瀬真佐子
＜編集スタッフ＞茨木由美・岩井聰・鍵谷誠一・佐藤和男・李 顯 (五十音順)



出会う→集う→育てる→実る



吹田市立市民公益活動センター
〒565-0862 吹田市津雲台1丁目2番1号
千里ニュータウンプラザ6階
TEL 06-6155-3167 FAX 06-6833-9851
Eメール info@suita-koueki.org
ホームページ <http://suita-koueki.org>
指定管理者 NPO 法人 市民ネットすいた



平成25(2013)年度 吹田市『市民公益活動促進補助金』交付団体訪問記

昨年4月に公募された市民公益活動促進補助金の交付を受けた18団体の中から、市の職員や市民公益活動審議会委員と共に10月～11月にかけて活動現場を訪問し、活動見学とともに、交付団体の事業実施上の課題などを聞かせていただきました。

ここでは、高齢者支援、子ども支援、障がい者支援、環境問題の4分野に焦点を当て、市民が主体的に地域課題に取り組む姿を紹介したいと思います。

団体名 子ども支援

こらぼれチップス

事業名:「子どもの声を聴く」電話相談(チャイルドライン)

団体情報: <http://coraborechips.web.fc2.com/>
実施場所: 岸部市民センター 岸部南1丁目4-8



今年6月に予定しているチャイルドラインの開設に向けて、国連「子どもの権利条約」を基本に全10回の講座を開催し、「子どもの声を聴けるおとな」を養成する事業です。ラコルタスタッフも講座に参加し、他の参加者と共に、電話対応についてグループディスカッションに参加してきました。北摂地域で取り組まれていなかったチャイルドラインですが、今回の事業で「電話を通じて子どもの心の居場所を作る」ことや「受けとめた声を社会発信し、子どもの生きやすい社会を作る」ことを吹田から発信していくことでしょう。何よりも、直接子どもに存在を知ってもらうことが大切ですので、開設時には吹田の公立小中学校にカードを配布する予定だそうです。

団体名 高齢者支援

シニアにこここサロン

事業名: シニアにこここサロン

実施場所: 健康の森 古江台6-3-1



市民ホールでの「いきいきサロン」には遠くて参加出来ない地域の高齢者のニーズにより、2年前民生委員が中心となり「シニアにこここサロン」が始まりました。足、腰、膝の衰えにより歩きにくい人、独居で外に出たくない高齢者を対象に「健康の森」で、体操、脳トレ等を介護予防と認知症予防の目的で月2回行っています。男性の参加が少ないことを課題の一つに挙げていましたが、訪問日は男性の参加もありました。終了後に有志で昼食を共にして、参加者同士の情報交換や談話により孤立を防ぐコミュニティの機能も果たしているといえます。

団体名 障がい者支援

特定非営利活動法人 なの花

事業名: 発達障がい児を持つ親の集い

団体情報: <http://www.nanohana21.org/>
実施場所: ラコルタ

発達障がい児を持つ親たちを中心に、発達障がいについての学習会や療育、医療についての情報交換等だけでなく、日頃の悩みやしんどさを親同士で分かち合う事業です。昨年11月に開催された講演会「知ってほしい発達障がい～自閉症について」では、療育の専門家を招き、正しい理解を広げるだけでなく、子どもを取り巻く、親をはじめとした支援者のつながりを作り出すことが、子どもの成長に重要であることを伝えていました。また、講座だけでなく、昨年の夏には「わくわくの里」でキャンプを行うなど、普段交流の少ない父親も交えた家族間のコミュニケーションを深めることができたそうです。



団体名 環境問題

特定非営利活動法人 すいた市民環境会議

事業名: 第3回環境楽座

団体情報: <http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm>
実施場所: 吹田市文化会館(メイシアター) 泉町2-29-1

地球規模の「環境」についての問題を解りやすく市民に伝える「環境楽座」に取り組んでいます。「環境楽座」とは、環境問題について、もっと身近に考えてもらうことを目的に毎年開催されています。今回の補助金事業では、アクセスのいいメイシアターで全6回のナイトスクールとして開催されました。最終回の「飽食から崩食の時代の今」では、現在の食の生産から消費に至る流れの中に見る課題を投げかけるものでした。アカデミックな内容でありながら分かりやすく、開催場所も駅近くで利便性が高いことなど、会社勤めの人にも参加しやすいことは魅力の一つといえるでしょう。



訪問を終えて。。。

平成25年度の吹田市市民公益活動促進補助金は「市民公益活動のさらなる活性化と市民主体の活力ある地域社会の実現を図ること」を目的に、市民公益活動団体に取り組む事業に必要な経費の一部を補助するものです。平成26年度の募集については、4月号の市報にてお知らせします。

ラコルタでは、補助金申請についての相談も受け付けており、申請書の書き方やプレゼンテーションの仕方などのアドバイスも行います。さらにその他、官民様々な助成金についての相談にも対応しています。補助金・助成金を獲得することは、公益性、信頼性の高い市民公益活動団体であり、事業内容として内外ともに評価されることにもつながります。補助金申請をご検討の団体は、ぜひ一度ラコルタへご相談ください。

市民公益活動団体のための会計講座

日々の会計処理や簡単な簿記知識を身につけるための、初心者やさしい入門編です。吹田市市民公益活動促進補助金申請のための事業予算書の作成にお役立てください。
●日時: 4月6日(日) 14:00～16:00 ●場所: ラコルタ
●対象: 市民公益活動に関わる全ての方 ●定員: 先着20名
●費用: 無料 ●申込: 電話かファックスで

連載 私たちの団体・私たちの活動



第3回

市民公益活動団体インタビュー

山一地区公民館

館長 桑原喜幸さん

Q 山一地区公民館(※1)はどこにあるどんな組織ですか？

A 万博公園の南側、ところどころに畑もあり、川も流れ、自然に恵まれた環境にあります。昨年建て替えを済ませたばかりの公民館は、山田第一小学校のすぐお隣にあり、子ども達の熱気が感じられる場所です。公民館活動の企画に携わっているのは、11の自治会から選出された企画運営委員です。1年ごとに交代の自治会も多く、慣れてきた頃には交代なのですが、その短い期間に地域活動の楽しさを体験してもらっています。

(※1) 地区公民館とは、市内の各小学校区に1か所ずつ(千里ニュータウンは南北に1か所ずつ)設けられた施設で、地域住民に向けた学習機会の提供を中心に地域の交流を深める施設です。

Q 活動内容を教えてください。

A 季節ごとの講座や、さまざまなグループ活動を行っています。これらは、学習的な内容のものが多く、どうしてもシニア世代の利用に偏る傾向がありました。そこで、昔からの住民に加え、最近増えてきた団地やマンション住まいの若い世代にも公民館を利用してもらいたいと思い、「楽しみ」を実感できるような行事を企画しました。その一つが、ラコルタでも開催していた「超巨大紙相撲大会」です。お正月のお餅つきや獅子舞と共に開催したところ、子どもからお年寄りまでいろんな世代をつなぐことができました。今年は、企画委員や地域の若い世代の絵が得意な人やお話が好きな人に呼びかけて「戦争体験」を伝える紙芝居作りも行いました。山田に住む戦争体験者にお話を聞くことから始まった取り組みですが、次世代へとつながってきています。



Q これからの意気込みを教えてください。

A 山一公民館のモットーは「心あたたまるときなひとときを」です。多くの人に関わることを積み重ねていく中で、楽しみながらあたたかい地域づくりをすすめていきたいです。

<山一地区公民館へのお問い合わせ・連絡先は>

〒565-0821 吹田市山田東2-33-1

TEL/FAX 06-6877-9500